

看護小規模多機能型居宅介護  
ケアホーム希望

# 希望



## ニュース

Vol.51 平成29年12月号

(株)つつじヶ丘在宅総合センター  
〒182-0006  
調布市西つつじヶ丘2-19-6  
第三コーポ横田 1F

☎ 03-5315-5722



### 一期一会

今年も残り数日となりました。皆さまはどのような年だったでしょうか。「ケアホーム希望」では、今年 8名の利用者が天国へと旅立ちました。

出逢いがあれば別れがあります。まして、高齢で病気があれば死への確率は増します。だからこそ私たちは、その出逢いに感謝し毎日を共に感動し感激して時を大切に過ごしたいと思います。そして、人生の最期に関われる仕事ができ、この仕事に誇りを持って続けられるよう日々精進していきたいと思ひます。

すべての出会いに

謝意

### 愛する息子へ母からの伝言…

85歳のYさんは癌の末期。「もう、治療はしたくない。最期は家で暮らしたい」と、病院を退院してくる。全身は黄疸で腹水も溜まっている。ポータブルトイレに移動するも介助が必要な状態である。しかし Yさんは、ベットから自分で起き上がり「よっこらしょ」と、時間がかかっても頑張る。「好きな食べ物は？」と聞くと、「何でも食べるのよ」と…。食べたものを吐いてしまうこともあるが「次は食べられるかもしれないから」と…。

Yさんの口癖は「こんなに息子が介護してくれるとは思わなかった…」  
家族に対する想いと、感謝の気持ちはいつも忘れない。そんなYさんも日々衰弱していく。病院から自宅に帰り17日目の夕方に、血液まじりのものを吐き、胃に管が入った。その母親の姿を見て困惑する息子に「大丈夫、家にいます」との返事。

その後 3時間後に 息子に見守られ、穏やかに息を引き取った。  
Yさんの穏やかな顔とは裏腹に口元は歯をギューツと噛みしめていた。  
きっと、痛くて歯を食いしばり、辛くてもそんなそぶりは見せず。

最期は少しでも医学の発展のためにと、検体を望んで天国へと旅立って逝った。



“どんなに辛いことがあっても 歯を食いしばり 前を向いて歩いて～！  
私はあなたと最期までいれて幸せだった” そんなYさんの言葉が聞こえる死だった…

寂しさを感じたら 誰かに声をかけよう

苦しみに出会ったら ひたすら耐えていこう

優しさに出会ったら 喜びを分けてあげよう

だから 人生は おもしろい…

Iさん  
82歳

Tさん  
83歳

Mさん 95歳

Hさん 84歳

Nさん 74歳

Yさん  
86歳

Sさん  
90歳

# X'mas会

# かんぱ〜い!

# 2017



綺麗に  
お化粧品  
してもらいました

## プレゼント抽選会は 毎年 大盛り上がり!



誕生日と  
クリスマス会を  
してもらいました~!

私は 膝かけを  
もらいました

あったかい  
手ぶくろ  
いただきました!



ありがとう